

第 52 事業年度（令和 6 年度）事業報告書（概要）

〔 令和 6 年 4 月 1 日から
令和 7 年 3 月 31 日まで 〕

1 配合飼料価格差補てん事業

(1) 通常補てん積立金の徴収

（単位：千トン、円／トン、百万円）

区 分	加入者負担		契約製造業者負担		計
	通常補てん 積 立 金	別途納付金	通常補てん積立金		
			基本	特別	
対 象 数 量	15,951	0	15,556	15,556	
積立金単価	800	970～ 1,720	800	800	
積 立 金 額	12,761	0	12,453	12,453	
合計金額	9,660		24,906		37,666

（注）計は、四捨五入の関係で数値が合わないことがある。

(2) 価格差補てん金の交付

(単位：千トン、円／トン、百万円)

区 分		第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	計
対 象 数 量		3,604	0	0	0	3,604
補てん金 単 価	通常価格差補てん金	1,450	0	0	0	
補てん金 交 付 額	通常価格差補てん金	5,194	0	0	0	5,194
	合 計	5,194	0	0	0	5,194

(注) 計は、四捨五入の関係で数値が合わないことがある。

(3) 補てん事業の長期借入金の状況

(単位：千円)

借入時期	借入額	返済額	借入残高	返済期間
令和5年2月	8,515,410	2,128,853	6,386,558	令和6年1月～令和10年10月
令和5年5月	12,333,100	3,083,275	9,249,825	令和6年5月～令和10年10月
令和5年8月	8,759,430	1,457,972	7,301,459	令和6年8月～令和10年10月
令和5年11月	6,732,410	336,621	6,395,790	令和7年1月～令和11年10月
合 計	36,340,350	7,006,720	29,333,631	

2 業務の執行について

業務の適正を確保するための体制を整備し、その運用を適確に実施した。

3 全日基における諸規定の追加・変更等について

(1) 通常補てん交付金の最低限度額にかかる業務方法書の一部変更について

令和 6 年度に開催された「基金制度に関する在り方検討会」において、補てん最低限度額については、配合飼料価格や積立単価の上昇及び振込手数料の上昇等経済事情の変化に伴い引き上げるべきであるとの認識が 3 基金共に共有されたことから、これを踏まえ同最低限度額を、令和 7 年度の第 1 四半期から、従来の 250 円/トッから 500 円/トッに引き上げることとし、全日基業務方法書の一部を変更した。

4 基金協会の事業実施体制のあり方の検討

基金協会をめぐる情勢の変化に対応し、業務の円滑な推進の観点から基金協会のあり方について、地域の連絡協議会において課題提起し関係者との意見交換を行った。

5 その他

(1) 基金協会に対する支援について

ア 基金協会に対する事業運営交付金助成等

イ 新任役員等研修会の開催

(2) 総会、理事会等の開催について

定時総会 1 回、理事会 5 回及び運営委員会(理事会との合同会議を含む。)を 4 回開催

(3) ブロック会議の開催について

ブロック会議は、11 月に 3 カ所(東京、神戸、博多)で開催

(4) 一般社団法人東京都配合飼料価格安定基金協会の事務代行

(5) 配合飼料価格差補てん事業の運営に関する実態調査の実施

基金協会を通じて補てん金交付業務の実態について調査

以 上